

# 平成 29 年度 筑北村まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 木質バイオマス自立創生事業の概要

今年度の取り組みとして、主に 3 つ掲げております

- ① 森林・林業基本計画 基礎調査
- ② 森林 GIS システム導入
- ③ 林業事業体育成支援

### ① 【森林・林業基本計画策定のための基礎調査】

平成 28 年度に実施した「筑北村森林資源活用保全戦略」基礎調査業務（アカマツの健全度調査及び森林資源量解析）の成果を踏まえ、アカマツ林の利用にとどまらず、筑北村の森林資源全体の幅広い利活用に資する「筑北村 森林・林業基本計画」の策定に向けた基礎調査を実施した。

#### （1）森林所有者の状況・意向調査

「筑北村 森林・林業基本計画」において実施する、ゾーニングの基礎情報収集並びに、施業集約化の効率化を目的とし、対象区域における森林所有者に対し、アンケート調査を実施。

アンケート調査内容

- ① 所有者の概要（特に後継者）について
- ② 所有山林の現状
- ③ 森林施業の履歴と計画について
- ④ 林所有者の意向について

#### （2）関係者ヒアリング

「筑北村 森林・林業基本計画」の実行体制を検討するために、行政（長野県・筑北村）、林業事業者（森林組合・他村内事業者等）、森林所有者、木材需要者（村内・村外）に対してヒアリングを実施し、現状を把握した。

#### <要検討事項>

- ・ **新たな森林管理システム（森林バンク）**の受け皿組織をどうするか
- ・ 各者の適切な役割分担・協力体制の構築→**協議会等の設立**が必要

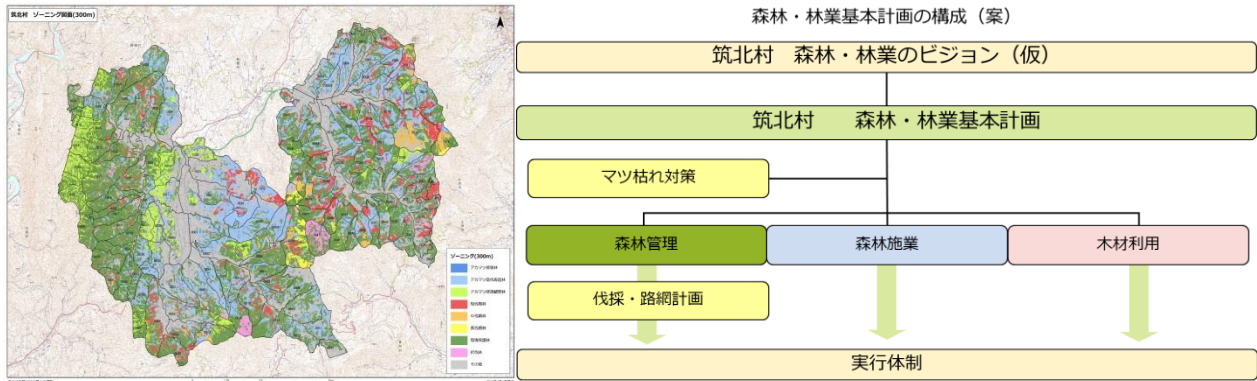
#### （3）現地調査

基礎調査業務において実施した健全度調査や本業務によって実施するゾーニングについて、現実林分との整合性を確認し、それぞれの精度向上を行うための現地調査を実施した。

95 プロット実施（各プロット面積：約 0.01ha）

#### (4) ズーニング

基礎調査業務の成果として得られた森林現況データを基に、それぞれの林分の特性・潜在力・所有者の意向等に着眼してズーニングを実施する。具体的な方法としては、林分の地位・地利・環境保全機能、所有者の森林に関する現状・森林施業や管理に対する意向等の要素に着目し、伐期や施業方法等、それぞれの林分の取り扱い方針によって分類を行った。



## ② 【森林 GIS システム導入】

長野県で蓄積されている森林情報の効率的な活用が可能になるよう、長野県林務部が保有する森林簿、森林計画図、長野県型立体地形図（CS立体図）および平成28年度「筑北村森林資源活用保全戦略」基礎調査業務において作成された林分図、森林資源データベース、路線網図、陰影段彩図により、GISエンジンで構築し事務の効率化を図る。

[基本機能]

機能	機能分類	機能説明
表示	地図操作機能	表示した地図に対し、拡大・縮小・スクロールを行い、任意の地点を自由に表示可能
	レイヤ表示機能	レイヤにより任意の地図を重ね合わせ、任意の主題図を表示することが可能
	属性表示機能	地図上に登録された図形の属性情報及びファイリングデータを表示することが可能
検索	地番検索	地番検索
	森林簿検索	林班・小班・施業班検索及び検索結果のCSV形式で出力が可能
計測	計測機能	表示地図上で任意地点での延長・面積を計測及び計測結果表示
編集加工	属性更新機能	森林簿についての属性情報の編集機能（新規・更新・削除）
	ファイリング機能	属性情報に関連するファイル添付が可能
	分布図作成機能	林班・小班・施業班ごとに紐づく属性情報をもとに様々な主題図を作成する
	図面切出し	表示された地図イメージを他アプリケーションへ切出し、画像ファイルとして保存も可能とする（JPEG、DXF等）
	お絵かき機能	地図画面上の任意の位置に図形（ポイント・ポリゴン・ライン等）を作図でき、属性情報を登録することができる機能
印刷	指定範囲印刷	任意の範囲を指定し出力が可能
	縮尺指定印刷	任意の縮尺を指定し出力が可能
	整飾作成機能	文字、シンボル、記号等が自由に入力、配置可能で四隅座標表示、索引図添付が可能
	台帳出力機能	施業班ごとに図形情報と属性情報を台帳形式で出力が可能

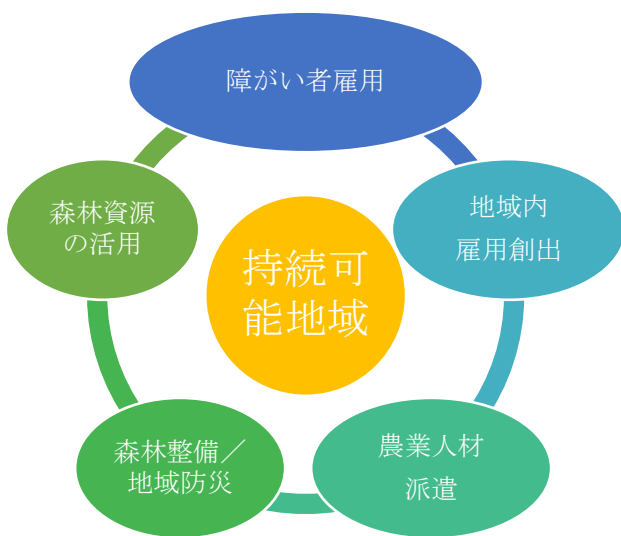
[機能開発]

機能	機能分類	機能説明
表示	森林資源D B 属性閲覧	1つの林分ポリゴンに複数の樹種テーブルを含むため、複数の属性情報の閲覧
編集加工	属性情報更新	森林資源D B・路網図についての属性情報の編集機能（新規・更新・削除）
	年次更新機能	林木の自動成長（樹高、蓄積量、成長）の自動更新機能
	主題図作成	林分図についての各種主題図表示・印刷
印刷	齢級表印刷・帳票印刷	森林計画図・林分図等の図面及び帳票の印刷（紙・PDF）

### ③ 【林業事業体育成支援】

筑北村まち・ひと・しごと総合戦略基本目標「美しい山々に囲まれ自然エネルギーが循環する村づくり」の実現のための仕組みづくりとして、社会福祉協議会における障害者雇用（農林福連携）の創出のための林業事業体支援を28年度に続き実施した。

農林福連携、地域防災、地域資源を活用した地域づくりの推進



1. 森林整備／地域防災
  - ・ 次世代へつなぐ林業事業体の構築
2. 木質バイオマス熱利用促進
  - ・ 公共施設等への薪暖房導入、エネルギー自給
3. 雇用創出
  - ・ 次世代人材育成／雇用創出
4. 障がい者雇用
  - ・ 障がい者雇用を促進（雇用型を想定）
5. 農業人材派遣
  - ・ 地域の「手間」を担い、「ほしい人手」を創出

(1) 社会福祉協議会における取組内容

木質資源活用推進組織の設置に向けた取り組み

コンサルタントの外部視点を入れ、客観的な助言、指導の下、推進組織設置に向けた取り組みを進めた。

① 農林福連携推進組織

- ・ 母体となる団体を組織するため定期会合を開催した（合計6回／部会8回）。

② 講演会開催、先進地勉強会、社会実証を通じて継続可能な団体へのイメージ共有を行った。

- ・ 講演会「山村の資源を使って地域を元気にする講演会」開催
- ・ 社会実証「極寒ちくほく山遊び」を開催
- ・ 先進地視察「NPO 法人赤目の里山を守る会」を視察

## (2) 人材育成

林業事業体および地域内農林業家等からの実地研修を受け、本会職員および関係者の技術を高め人材育成を進めた。

- ・ 林業関連  
特殊伐採実践基礎研修（5日間）および路網整備研修（10日）受講。
- ・ 農業関連  
農作物製造研修（5日、古代麦）、花木生産研修（2日）受講。
- ・ 資格取得  
特殊伐採基礎講習およびリギング技術講習、高所作業車免許を取得
- ・ 雇用状況  
常勤1名、非常勤3名を雇用し、団体運営の核となる人材確保を進めた。

## (3) 機器整備

農林福業事業体運営のための機器整備を進めた。

- ・ バックホー、グラップルの購入

## (4) その他

### ①人材育成および推進組織運営にかかる器具類の購入

- ・ クライミングギア、リギングギア、高所作業用梯子、薪集積用機材、アルミブリッジ等

### ②広報・啓発活動

- ・ Oteko 衆（地域支援代行サービス）を開始  
住民から圃場整備や草刈作業の依頼が多数あり、取り組み内容について周知が進んだ。
- ・ 「極寒ちくほく山あそび」開催  
スノーシュー、チェーンソー基礎講座、キャンプファイヤー、朝さんぼ、ゲストハウス宿泊を同日共同開催。環境省事業イベントと連日とすることで多くの集客ができ、山の暮らしについての広報、啓発活動を進めた（約150名、2日間）。